

## 【参考2】 県の取組（施策の柱1 関連）

### 【施策の柱1】

大規模イベント等の機会を捉えた更なる文化振興

#### 〈重点的取組〉

- ①すべての人が芸術文化にアクセスできる環境の整備
- ②イベント等を契機とした県民参加の拡大と文化の創造及び発信
- ③文化分野におけるボランティア活動の活発化

### 【重点的取組①に関連する事業】

事業名(所属)	目的・内容等	R3年度の実績	現状・課題
新潟県文化祭 (文化課)	<p>◇県民に質の高い芸術文化に触れる機会や日頃の文化活動の成果を発表する機会を提供し、県内の文化活動を活性化するとともに、改めて新潟県の「文化の宝もの」を見つめ直し、新たな地域文化を創造・発信する。</p> <p>【R3年度実施内容】</p> <p>①開幕式・公演</p> <p>②文化団体分野別共催事業 全県で活動する文化団体による公演</p> <p>③参加協賛事業 新潟県文化祭の趣旨に賛同する各種文化イベント等</p> <p>④公募動画事業 文化団体等を対象に動画を公募、制作費を助成</p> <p>⑤「新潟の文化を応援しよう！」プロジェクト 公募動画参加者のうち希望者を対象に、応援金の寄附を募集</p> <p>⑥県主催公演・ステージ提供事業 文化団体・ゲスト等による公演、ライブ配信</p> <p>⑦芸術家派遣事業 小・中学校で実技指導(出前体験教室) 文化施設等ロビーで実演(出前コンサート)</p> <p>⑧新潟出版文化賞 県内に在住者の執筆による自費出版図書を顕彰</p>	<p>新潟ステージチャンネル 配信動画数162 チャンネル登録者数811人 総視聴回数169,179回(R3年度末現在)</p> <p>①35人 ②5団体 入場者数10,563人 ③40事業 入場者数114,597人 ④応募:165件 選定:96件(うち3件辞退) ⑤77団体等 ⑥入場者数1,624人 ⑦参加数 出前体験教室20校・1,548人 出前コンサート4施設・413人 ⑧応募点数85点</p>	<p>県民の新潟県文化祭の認知度の低さと、参加者の年齢に偏りがあることが課題となっている。(若年者層の参加率が低い)</p>
新潟県文化振興財団補助金 (文化課)	<p>◇新潟県における県民文化の高揚を図り、県民の生活向上と文化の発展に寄与するため、その担い手となる新潟県文化振興財団に対して、活動に要する経費を補助し、支援する。</p> <p>【R3年度実施内容】</p> <p>(1) 芸術文化普及・ホール活性化支援事業 日頃「生の演奏」に接する機会の少ない県民に「身近で手頃な」鑑賞機会を提供するとともに、低迷する地域のホールの活性化を支援するため、県内各地域と共催で各種公演を実施。 (ア) マイタウンコンサート (イ) 舞台芸術を活用した県民参加・体験拡大プロジェクト</p> <p>(2) 地域中核ホール活性化支援事業 県民会館で培ったノウハウをもとに、概ね1,500席程度の地域中核ホールと協働し、質の高い公演を実施。 (ア) 新潟県文化振興財団40周年記念事業「ふれあいホットコンサート」 (イ) 劇団四季ミュージカル「The Bridge～歌の架け橋～」</p> <p>(3) ふれあいホットコンサート 身体的な理由等でホールに足を運べない人々を対象にしたアウトリーチによるコンサート(高齢者施設、病院、特別支援学校で実施)</p> <p>(4) 新潟ステージチャンネル魅力発信事業 新型コロナウイルスの感染拡大により、活動の場を失った文化団体等を支援するため、Youtubeの「新潟ステージチャンネル」で、活動動画を公募し、配信することで活動の場を提供した。</p>	<p>(1) 入場者数 (ア) 569人 (イ) 2,801人</p> <p>(2) 入場者数 (ア) 855人 (イ) 967人</p> <p>(3) 実施施設数 1施設 (実施した会場のDVD動画を作成し、4施設でDVD鑑賞会を実施)</p> <p>(4) 公募配信動画 一般80件、学校13件</p>	<p>財団の効率的、効果的な事業の実施</p>

事業名(所属)	目的・内容等	R3年度の実績	現状・課題
新潟県障害者芸術文化祭開催事業 (障害福祉課)	◇障害者の芸術文化活動の振興を通じて、障害のある人の自立と社会参加を促進し生活を豊かにすること。  【R3年度実施内容】 (ア) 美術展 会場 新潟ユニゾンプラザ 日時 令和3年11月16日～21日まで6日間開催 (イ) ステージ発表 会場 新潟ユニゾンプラザ 多目的ホール 日時 令和3年11月21日 (ウ) 優秀作品の審査、表彰	美術作品出展数 230点 文芸作品出展数 115点 ステージ発表出演数 7組 来場者数 928人	美術作品数の展示に活用できるスペースが狭く、作品のスペースにゆとりをもった展示ができていない。 また展示会場の照明が届かない箇所では、薄暗くなっており、来場者が作品を楽しむことに適した環境を提供できていない。
小規模図書館等セット図書長期一括貸出 (県立図書館)	◇読書環境の整備と読書活動を支援する。 ・県内の小規模自治体の図書館及び公民館の図書室に対して、図書(1セット100冊)を長期一括貸出をする。	貸出市町村数 8市町村  貸出総数 7,800冊	現行29セットで運用しているが、市町村のニーズに沿った新規セット図書の充実が課題となっている。
相互貸借 (県立図書館)	◇県立図書館から遠い地域に住む県民が、市町村立図書館・公民館図書室(以下「市町村」)を通して当館資料を利用できるようにする。 ・市町村へ貸し出す際の物流費を負担する。	貸出冊数 7,494冊 (うち市町村6,308冊)	平成30年度に市町村立図書館への物流費を県が負担することで1,000冊弱貸出冊数が増えたが、その後は頭打ちとなっている。 県民のサービスに対する認知度が高くない。
対面朗読 (県立図書館)	◇利用者の求めに応じて、当館所蔵資料の読み上げや図版の説明等を行う。	利用人数 0人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休止中	サービス開始以来、利用数が少ないことが課題であった。広報を充実させる必要がある。
越後佐渡デジタルライブラリー (県立図書館)	◇当館および県内図書館等が所蔵する貴重な郷土資料の絵図・地図・錦絵・史料等をデジタル化し、ホームページで画像として閲覧できるようにしている。	撮影資料数 75点  撮影画像数 935枚	新規資料の追加を行うとともに、R3年度は画像の二次利用条件の表示開始(R4.2～)や、デジタルライブラリーで公開している画像の中からテーマにあった画像をピックアップして紹介する「新潟県の歴史と文化を旅するギャラリー おうちで古地図・書画・古文書」の作成(R3.6～)など、利用促進に向けた取組を行った。収録資料の充実が課題となっている。
遠隔地返却サービス (県立図書館)	◇新潟県立図書館で借り受けた資料を利用者の居住地(新潟市を除く)の図書館に返却できるサービス。	利用冊数 2,298冊 利用件数 716件	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用が低調である。 手続きが煩雑であり、利用者、市町村図書館、当館職員それぞれに負担がある。
サビエ図書館サービス (県立図書館)	◇音声デジタイズ図書などが多く収められている「サビエ図書館」を利用し、音声デジタイズ図書などのデータをCD-ROMにダウンロードして貸出すほか、点字の本などを他の図書館から取り寄せることができるサービス。	貸出タイトル数 233タイトル	サービスの利用者が固定されており、新規の利用者が少ない。 広報を充実させ、利用促進を図る必要がある。
団体貸出サービス (県立図書館)	◇県内に所在、または活動している団体向けに、一度に50冊まで・30日間資料を貸出するサービス。以下のA・B2つのサービスがある(令和元年度から実施)。  A: 読書の場づくり支援サービス 施設等に入所中で来館が難しい方や、活字による読書が難しく個人での図書館利用が困難な方が入所・所属する団体の読書環境の充実を支援するサービス  B: 子どもの読書普及活動支援サービス 様々な読書体験を通じて、豊かな感性をはぐくむ機会が持てるよう、子ども向けの読書普及活動を行う団体の活動内容の充実を支援するサービス	貸出冊数 1,510冊	利用団体数が少なく、また新潟市外の団体に利用されていない。団体貸出の広報を強化するとともに、登録条件や貸出できる資料の範囲などを見直し、より利用しやすいサービスになるよう検討する必要がある。

【重点的取組②に関連する事業】

事業名(所属)	目的・内容等	R3年度の実績	現状・課題
新潟県文化祭(再掲) (文化課)	◇県民に質の高い芸術文化に触れる機会や日頃の文化活動の成果を発表する機会を提供し、県内の文化活動を活性化するとともに、改めて新潟県の「文化の宝もの」を見つめ直し、新たな地域文化を創造・発信する。 【R3年度実施内容】 ①開幕式・公演 ②文化団体分野別共催事業 全県で活動する文化団体による公演 ③参加協賛事業 新潟県文化祭の趣旨に賛同する各種文化イベント等 ④公募動画事業 文化団体等を対象に動画を公募、制作費を助成 ⑤「新潟の文化を応援しよう！」プロジェクト 公募動画参加者のうち希望者を対象に、応援金の寄附を募集 ⑥県主催公演・ステージ提供事業 文化団体・ゲスト等による公演、ライブ配信 ⑦芸術家派遣事業 小・中学校で実技指導(出前体験教室) 文化施設等ロビーで実演(出前コンサート) ⑧新潟出版文化賞 県内に在住者の執筆による自費出版図書を顕彰	新潟ステージチャンネル 配信動画数162 チャンネル録者数811人 総視聴回数169,179回(R3年度末現在)  ①35人 ②5団体 入場者数10,563人 ③40事業 入場者数114,597人 ④応募:165件 選定:96件(うち3件辞退) ⑤77団体等 ⑥入場者数1,624人 ⑦参加数 出前体験教室20校・1,548人 出前コンサート4施設・413人 ⑧応募点数85点	県民の新潟県文化祭の認知度の低さと、参加者の年齢に偏りがあることが課題となっている。(若年者層の参加率が低い)
新潟県文化芸術団体・イベント等マッチング事業 (文化課)	◇新型コロナウイルス感染症の影響により、活動の場が減少した芸術家が事業者等とのマッチングによる新たな活動場所を確保することにより、文化芸術活動の維持・継続を図る(R3~)。 ・県が、県内芸術家と事業者等とのマッチングを行い、新たな活動を行う際に必要な経費の一部を補助する。	①実施 7会場 ②マッチング数 10組	実施初年度による制度の周知不足から申請件数が伸び悩んだ。
にいがた「文化の宝もの」発掘・顕彰事業 (文化課)	◇新潟出版文化賞の実施 ・県民の執筆による自費出版図書を募集し、その中から専門家の審査により優れた図書を選定し、顕彰するとともに広く県民に紹介する。 ・隔年実施で、R3で第12回目となる。	応募点数85点 (内訳) 文芸部門45点 記録誌部門37点 学生部門3点	応募者の減少傾向が続いている。
新潟県音楽コンクール (文化課)	◇ピアノ、弦楽、声楽、管楽の4部門で出場者を募集、コンクールを開催し、本県における音楽活動の普及と水準向上を図る。  <R3年度> 第56回新潟県音楽コンクールを新潟日報社等との共催により開催。 [参加資格] 新潟県内に居住している人と居住されたことのある人。 [予選会]3会場実施(6月) [本選会]新潟市民芸術文化会館(8月) ※ピアノ・声楽・弦楽・管楽の4部門 [受賞者コンサート]新潟市音楽文化会館(10月)	参加総数 196人 本戦出場者数 45人	応募者の減少傾向が続いている。
新潟県美術展覧会 (文化課)	◇本県の美術水準の向上に寄与するとともに、広く県民に鑑賞機会を提供することにより愛好者の拡大を図る。  ※県を代表する総合美術展として、新潟日報社等との共催により開催。 ※昭和20年から始まり、令和4年で76回となり、長い歴史をもつ。 ※毎年4,000点程度の応募があり、アマチュア及び新人の登竜門となっている。 ※新潟会場及び地域巡回展で多くの観覧者があり、広く県民に対する鑑賞機会の提供の場となっている。	出展数 3,377点  出品者数 2,383人  観覧者数 15,673人	出品者、観覧者数がともに減少傾向にある
地域文化創造・発信事業 (文化課)	◇地域の文化に光りを当て、「文化の宝もの」を再発見する契機にするとともに、そこから新たに地域文化を創造・発信することにより、県民が自らの地域に誇りを感じ、生き甲斐をもつことができるようにし、ひいては、住んでみたくなる新潟県をアピールする。  ・文化ポータルサイト「新潟文化物語」による情報発信 (ア) 幅広い年齢層に訴求する特集、ブログの更新及び新潟文化体験レポートの掲載 (イ) TwitterなどSNSの活用による情報拡散とサイト誘導 (ウ) リーフレットの配付等によるサイト活用のPR (エ) 県観光協会等との連携強化 (オ) YouTubeへの動画掲載による文化の魅力と情報発信	「新潟文化物語」サイトのアクセス件数 456,009件	(ア)～(ウ)などにより本県文化の情報や魅力を県内外に発信しており、当サイトのアクセス数も増加傾向にあるが、本県の魅力をアピールするためには更なる認知度向上及びアクセス数の増加が課題となっている。

事業名(所属)	目的・内容等	R3年度の実績	現状・課題
新潟発！縄文からつづく文化の魅力体験・発信事業(文化課)	<p>◇東京2020オリンピック・パラリンピックを契機に日本の文化の魅力を国内外に発信する国の文化プログラム「日本博」を活用し、本県の特徴ある文化の魅力が体験できるツアーやイベントを県内各地で実施し、観光インバウンド等交流人口の拡大を目指すとともに、地域文化のさらなる魅力向上や文化イベントにおける情報保証等の充実を図りアクセンビリティの向上を図る。</p> <p>(ア)縄文の魅力体験・発信事業 縄文文化の魅力体験モニターツアー、縄文ジオラマ体験と解説ガイド</p> <p>(イ)縄文からつづく太鼓文化の魅力体験・発信事業 太鼓の演奏会、太鼓ワークショップ、文化資料展示</p> <p>(ウ)豪農・豪商文化や雪国文化などの魅力体験・発信事業 庭園・お屋敷を会場とした週末文化体験 雪国の暮らしを知る週末文化体験</p> <p>(エ)PR動画等による魅力及び情報発信 多言語対応型PR動画やWEBページを活用した魅力発信、海外インフルエンサー等による国内外への情報発信</p>	<p>【参加者数】</p> <p>(ア)縄文文化 ・ツアー:45人(うち外国人18人) ※バスツアー2本 ・解説ガイド:39人(うち外国人5人)</p> <p>(イ)太鼓文化(無観客LIVE配信) ・太鼓演奏会:504人 ※太鼓体験及び文化資料展示は、無観客開催のため中止</p> <p>(ウ)豪農・豪商文化、雪国文化 ・豪農・豪商ツアー:58人(うち外国人45人) ※バスツアー1本、オンラインツアー1本 ・雪国ツアー:37人(うち外国人35人) ※オンラインツアー1本</p>	<p>新型コロナウイルスの影響により、海外旅行客が参加出来ず、海外への情報発信が限定的となっている。</p> <p>アフターコロナを見据え、本県の魅力ある地域文化を活用した交流人口の拡大が必要とされている。</p>
新潟県文化振興財団補助金(文化課)	<p>◇新潟県における県民文化の高揚を図り、県民の生活向上と文化の発展に寄与するため、その担い手となる新潟県文化振興財団に対して、活動に要する経費を補助し、支援する。</p> <p>&lt;情報収集提供事業&gt; 県内の催事情報やアーティスト等の文化情報を、財団の文化情報誌「カルチャーにいがた」、ホームページを通して県民に提供。</p> <p>(ア)「カルチャーにいがた」発行事業 県民が広く利用する文化施設、図書館、学校等に無償で配布。</p> <p>(イ)オンライン情報提供事業 県が管理運営する「新潟文化物語」にイベント情報を一元化し、漏れのない情報を財団ホームページからのリンクで県民に提供。スマートフォンやタブレットでの利用環境を整備するとともに、フェイスブックでの情報発信も開始。</p>	<p>(ア)「カルチャーにいがた」発行部数 52,000部 (13,000部×年4回)</p> <p>(イ)HP,フェイスブック等の運営</p>	<p>財団の効率的、効果的な事業の実施</p>
観光振興の取組(観光企画課)	<p>◇県観光協会は、文化を活用した観光資源の発信等に取り組んでいる。</p>	<p>神社・仏閣、豪農の館、日本遺産などをパンフレットやHPで紹介。</p>	—
近代美術館・万代島美術館教育普及事業(県立近代美術館、県立万代島美術館)	<p>◇県内外に広く美術館情報を提供するとともに、作品の鑑賞と理解を助ける。</p> <p>(ア)近代美術館 巡回ミュージアム、美術講演会、映画鑑賞会、美術鑑賞講座、出前講座、ワークショップ、作品解説会等</p> <p>(イ)万代島美術館 ・美術講演会、美術鑑賞講座、ワークショップ、コンサート、作品解説会等</p>	<p>参加総数 (ア)1,008人 (イ)947人</p>	<p>コロナ禍の状況を踏まえ、講演会は中止(youtube配信に切替)、ワークショップ、コンサートは計画せず。／鑑賞講座・解説会は参加者の安全に配慮して実施。／学校団体等の依頼で出前講座を実施。</p> <p>感染症の拡大状況に応じた対応(事業の延期・中止など)の判断時期が難しい。</p>
ルネサンス事業(県立図書館)	<p>(ア)秋の読書週間記念講演会</p> <p>(イ)くらし応援講座</p> <p>(ウ)各種子どもイベント</p> <p>(エ)ふるさと講座</p> <p>(オ)地域映像の上映会</p>	<p>参加総数(ア)~(オ) 85人</p>	<p>コロナ禍により集合型での開催が難しいため、オンライン講座を実施した。</p>

【重点的取組③に関連する事業】

事業名(所属)	目的・内容等	R3年度の実績	現状・課題
歴史博物館友の会ボランティア活動 (県立歴史博物館)	◇歴史博物館の活動を支援し、館長、学芸委員との交流や会員同士の交流を通して歴史・民俗を学ぶ。 (ア) 研修旅行(日帰り1回・宿泊1回) (イ) 展覧会の開催 (ウ) 歴史博物館の整備支援活動 (エ) 会報誌の発行(年2回程度)	会員数 約400人	ボランティアの高齢化の進行による実働人員の減少
ボランティア活動 (一般向け) (県立歴史博物館)	◇来館者の生涯学習の機会増大と来館者に対するサービス向上を図る。 (ア) 体験コーナーや講座、講演会、その他のイベント等の共同運営 (イ) 体験活動の指導補助 (ウ) 企画展の監視 (エ) 資料の整理 (オ) 企画の立案 (カ) 広報作業の補助	登録者数 24人(R3は中学生ボランティアは0人)	新型コロナによる活動の場の減少
ボランティアとの協働 (県立図書館)	◇4種のボランティア活動 (ア) こども図書室 (イ) 公開書庫 (ウ) フロアワーク (エ) ガーデン	参加数 (ア) 15人 (イ) 10人 (ウ) 29人 (エ) 20人  (ア)(イ)は登録者数	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、こども図書室と公開書庫を休止しており、ボランティアの活動もなかった。フロアワークとガーデンのボランティアについては感染症対策を講じたうえで活動を行った。新規ボランティアの募集を休止している。
友の会ボランティア活動 (県立近代美術館)	◇登録された友の会会員によりボランティア活動を実施。 ・コレクション展のチラシ等の広報印刷物発送	参加数 0人  新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、ボランティア活動は中止している。
サポートメンバー活動 (県立万代島美術館)	◇サポートメンバーとして登録されたメンバーでボランティア活動を実施。 (ア) 企画展のチラシ等の広報印刷物発送 (イ) イベント開催時の手伝い	参加数 (ア) のべ9人 (イ) 0人 *イベント開催なし	現状、コロナ感染の拡大防止のためイベント開催がない。従って、活動内容が発送補助のみと限定的である。
古文書整理ボランティア (県立文書館)	◇くん蒸された古文書の清掃、整理などの作業を通して、歴史文書に慣れ親しむ機会を提供し、自分達の住む地域へのより深い理解につなげることを目的として、週1回程度実施している。	参加数 6人	興味を持って活動に取り組んでいただいていると同時に、文書整理の効率化に寄与している。

## 【参考2】 県の取組（施策の柱2 関連）

### 【施策の柱2】

地域文化の温故知新

#### 〈重点的取組〉

- ①地域文化の（価値の）再認識
- ②地域の文化行事等への県民参加の拡大
- ③地域文化を活用したまちづくり・地域振興の活発化

### 【重点的取組①に関連する事業】

事業名(所属)	目的・内容等	R3年度の実績	現状・課題
グリーン・ツーリズム推進強化事業 (地域農政推進課)	◇農林漁業体験等都市との交流活動を進め、農山漁村の活性化を図る。 ・知事が認定した「なりわいの匠」が地域の伝統的な技能や技術を体験交流の場で指導することを通じて、地域文化の理解を醸成する。 ・村上、新発田、新潟、新潟(巻)、三条、長岡、魚沼、南魚沼、十日町、柏崎、上越、糸魚川、佐渡の各地域振興局も合同で事業を実施した。	<なりわいの匠> R3認定者 33人 認定者累計 2,589人	地域の伝統・文化を継承していくためには、後継者育成や教育関連部署(教育委員会、学校、生涯学習担当部署)へ更なる周知が必要。
美しいまちづくり推進事業 (都市政策課)	◇自然景観や歴史的景観等、良好な景観の保全・形成を県と市町村及び県民と協働で行うことを目的に、制度的支援、技術的支援、普及啓発を実施する。 (ア) 景観フォーラム (イ) 景観セミナー	参加数 (ア)118名 (イ)実施なし	景観まちづくりは住民や基礎的自治体である市町村が主体的に取り組むことが望ましいが、県内の景観行政団体(景観法に基づき景観行政を担う自治体)への移行率は30%となっており、全国平均の43%を下回っている。(R3.3.31時点)
ジオパーク関連事業 (糸魚川地域振興局地域振興担当)	◇世界認定された「糸魚川世界ジオパーク」を活用した交流人口の拡大と地域活性化を図る。 (ア) ジオパーク検定 (イ) 認定ガイド研修等 (ウ) 糸魚川ジオパーク講座  ※糸魚川ジオパーク協議会への負担金 (200千円)	参加数 (ア) 50人(受験) (イ) 49人 (ウ) 256人	これまでジオパーク協議会の活動は、行政主導型であったが、活動が首長のスタンスに左右されるデメリットがある
地方創生フォーラム「西潟為蔵と地方創生」 (三条地域振興局地域振興担当)	◇私財を投じ八十里越開通に尽力するなど、地域の発展に寄与した三条市(旧下田村)出身の偉人、西潟為蔵(1845年～1924年)の功績等を地域資源として捉え、発信することにより、地域の交流人口の拡大を図る。  ◇NPO法人西潟為蔵会が主催するフォーラムに当振興局が共催し負担金を支出	負担金支出 50千円 参加人数 87名	令和元年からNPO法人を設立し、西潟為蔵の功績と精神を地域資源と考え下田郷の活性化を図っているが、広域的な交流人口の拡大を図ることにより、更なる地域活性化の効果が期第できる。
文化・観光魅力発信事業 (文化課)	◇県内を5つのエリアに分け、各エリアの文化資源を活用し、本県文化の魅力を発信することで県内への観光入込客数の増加を図る。  (ア)文化資源の掘り起こし (イ)モデルコース制作及びモニターツアーの実施 (ウ)「にいがた観光ナビ」への掲載 (エ)ハンドブック制作 (オ)PR動画制作 (カ)県外における新潟文化への興味喚起につながる話題づくり (キ)WEBを活用した話題づくり	※R4新規事業	県内には魅力的な文化資源が多く存在するが、観光資源として有効に活用されていないため、埋もれている文化資源にスポットを当て、魅力的な観光資源として県外へ発信していくためのツールや環境を整備することが必要である。

## 【重点的取組②に関連する事業】

事業名(所属)	目的・内容等	R3年度の実績	現状・課題
文化団体事業費補助金(文化課)	<p>◇文化活動の活発な展開と個性豊かな県民文化の創造と発展のため、県全域にわたり広域的な活動を行う文化団体を支援する。</p> <p>・活動に要する経費を補助する。 (文化団体事業費補助金、分野別文化団体事業費補助金)</p>	<p>&lt;R3補助対象団体&gt; ○文化団体事業費補助金 ・新潟交響楽団 ・新潟県工芸会 ・新潟県美術家連盟 ・現代工芸新潟会 2,102,000円 ○分野別文化団体事業費補助金 ・新潟県合唱連盟 ・新潟県華道連盟 ・新潟県洋舞踊協会 1,623,000円 ※新潟県茶道連盟・新潟県民謡協会・新潟県邦楽連盟・新潟県能楽連盟は新型コロナウイルス感染症の影響で事業中止</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い活動の中止等が相次いでいる。</p>
新潟県文化振興財団補助金(文化課)	<p>◇新潟県における県民文化の高揚を図り、県民の生活向上と文化の発展に寄与するため、その担い手となる新潟県文化振興財団に対して、活動に要する経費を補助し、支援する。</p> <p>&lt;文化活動支援事業&gt; 県民の文化への関心を高め、自主的な文化活動の活発な展開と個性豊かな県民文化の振興に寄与するため、県内の文化団体の自主的な文化活動に係る事業に対し助成を行う。また、次代を担う若手美術家の育成を図るため、公募総合展において優秀な成績を収めた者に公益財団法人新潟県文化振興財団賞を授与する。</p> <p>(ア) 県民文化活動推進事業 (イ) 国民文化祭参加事業 (ウ) 郷土の文化人顕彰事業 (エ) 新潟県総合美術展褒賞事業</p>	<p>(ア) 助成件数 11件 助成額 6,040千円</p> <p>(イ) 助成件数 4件 助成額 274千円</p> <p>(ウ) (公財)文化の記憶館に委託(企画展を3回実施) 事業費 9,750千円</p> <p>(エ) 県展7部門、芸展6部門に対して賞を授与 事業費 509千円</p>	<p>財団の効率的、効果的な事業の実施</p>

## 【重点的取組③に関連する事業】

事業名(所属)	目的・内容等	R3年度の実績	現状・課題
地酒の魅力発信事業(糸魚川地域振興局地域振興担当)	<p>◇糸魚川の地場産業である酒造業をジオストーリーの題材に取り組むことで、ジオサイトの魅力に深みと幅を持たせ、別の角度からのジオパーク来訪者を誘因し、交流人口拡大と地域活性化を図る。</p> <p>(ア) 糸魚川五醸の会への負担金 (イ) オンライン蔵元を囲む会の開催</p>	<p>市内5つの蔵元が地酒の魅力をオンライン配信(11/21開催)</p>	<p>若者の日本酒離れや、コロナ禍でイベントや飲み会が制限されるなか、糸魚川地酒の啓発・普及促進が課題となっている</p>
「もう一つの越後・北前船」資源発掘活用事業(村上地域振興局地域振興担当)	<p>◇胎内市、村上市等に残る北前船の痕跡や北前船に関する文化を掘り起こし整理を行い、それを活用することにより、地域の北前船の歴史について住民の理解を深めるとともに、北前船の資源及び文化を発信し交流人口の拡大を図る。</p>	<p>北前船関連資源を有する地域合同でのまちあるきを計画するも、新型コロナの影響により中止。</p>	<p>地域住民の理解の深化。各地域の取組の温度・進度の違いに応じた支援。</p>
阿賀北の文化・歴史探訪発信事業(新発田地域振興局企画振興部)	<p>◇管内市町に存在する国登録有形文化財に注目し、観覧のポイントや周辺の見どころ等をあわせて紹介する。文化・歴史の面からこの地域の価値を伝え、これを育み、活用するまちづくりやまちあるきなどの取組に繋がることを目指し、交流人口の増加及び将来的な広域連携の取組を図る。</p>	<p>ガイドマップ(A2版、折り込みA5サイズ)を作成、1,000部印刷</p>	<p>・まちあるきガイドマップにどのくらい文化財・歴史を盛り込むか、他にどのような要素(例:食べる、買う等)を盛り込むか ・配布先でいかに手にとってもらえるか</p>

事業名(所属)	目的・内容等	R3年度の実績	現状・課題
文化・観光魅力発信事業(再掲) (文化課)	<p>◇県内を5つのエリアに分け、各エリアの文化資源を活用し、本県文化の魅力を発信することで県内への観光入込客数の増加を図る。</p> <p>(ア)文化資源の掘り起こし  (イ)モデルコース制作及びモニターツアーの実施  (ウ)「にいがた観光ナビ」への掲載  (エ)ハンドブック制作  (オ)PR動画制作  (カ)県外における新潟文化への興味喚起につながる話題づくり  (キ)WEBを活用した話題づくり</p>	R4新規事業	県内には魅力的な文化資源が多く存在するが、観光資源として有効に活用されていないため、埋もれている文化資源にスポットを当て、魅力的な観光資源として県外へ発信していくためのツールや環境を整備することが必要である。

## 【参考2】 県の取組（施策の柱3 関連）

### 【施策の柱3】

文化活動の県民参加の拡大

#### 〈重点的取組〉

- ①優れた文化の鑑賞・参加機会の提供
- ②子どもの文化活動の促進
- ③専門的人材の育成・支援
- ④文化に親しむ場となる環境の整備

### 【重点的取組①に関連する事業】

事業名(所属)	目的・内容等	R3年度の実績	現状・課題
新潟県文化祭(再掲) (文化課)	<p>◇県民に質の高い芸術文化に触れる機会や日頃の文化活動の成果を発表する機会を提供し、県内の文化活動を活性化するとともに、改めて新潟県の「文化の宝もの」を見つめ直し、新たな地域文化を創造・発信する。</p> <p>【R3年度実施内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①開幕式・公演</li> <li>②文化団体分野別共催事業 全県で活動する文化団体による公演</li> <li>③参加協賛事業 新潟県文化祭の趣旨に賛同する各種文化イベント等</li> <li>④公募動画事業 文化団体等を対象に動画を公募、制作費を助成</li> <li>⑤「新潟の文化を応援しよう！」プロジェクト 公募動画参加者のうち希望者を対象に、応援金の寄附を募集</li> <li>⑥県主催公演・ステージ提供事業 文化団体・ゲスト等による公演、ライブ配信</li> <li>⑦芸術家派遣事業 小・中学校で実技指導(出前体験教室) 文化施設等ロビーで実演(出前コンサート)</li> <li>⑧新潟出版文化賞 県内に在住者の執筆による自費出版図書を顕彰</li> </ol>	<p>新潟ステージチャンネル 配信動画数162 チャンネル録者数811人 総視聴回数169,179回(R3年度末現在)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①35人</li> <li>②5団体 入場者数10,563人</li> <li>③40事業 入場者数114,597人</li> <li>④応募:165件 選定:96件(うち3件辞退)</li> <li>⑤77団体等</li> <li>⑥入場者数1,624人</li> <li>⑦参加数 出前体験教室20校・1,548人 出前コンサート4施設・413人</li> <li>⑧応募点数85点</li> </ol>	<p>県民の新潟県文化祭の認知度の低さと、参加者の年齢に偏りがあることが課題となっている。(若年者層の参加率が低い)</p>
新潟県音楽コンクール(再掲) (文化課)	<p>◇ピアノ、弦楽、声楽、管楽の4部門で出場者を募集、コンクールを開催し、本県における音楽活動の普及と水準向上を図る。</p> <p>&lt;R3年度&gt; 第56回新潟県音楽コンクールを新潟日报社等との共催により開催。</p> <p>[参加資格] 新潟県内に居住している人と居住されたことのある人。</p> <p>[予選会]3会場で実施(6月) [本選会]新潟市民芸術文化会館(8月) ※ピアノ・声楽・弦楽・管楽の4部門</p> <p>[受賞者コンサート]新潟市音楽文化会館(10月)</p>	<p>参加総数 196人 本選出場者数 45人</p>	<p>応募者の減少傾向が続いている。</p>
新潟県美術展覧会(再掲) (文化課)	<p>◇本県の美術水準の向上に寄与するとともに、広く県民に鑑賞機会を提供することにより愛好者の拡大を図る。</p> <p>※県を代表する総合美術展として、新潟日报社等との共催により開催。</p> <p>※昭和20年からはじまり、令和4年で76回となり、長い歴史をもつ。</p> <p>※毎年4,000点程度の応募があり、アマチュア及び新人の登竜門となっている。</p> <p>※新潟会場及び地域巡回展で多くの観覧者があり、広く県民に対する鑑賞機会の提供の場となっている。</p>	<p>出展数 3,377点</p> <p>出品者数 2,383人</p> <p>観覧者数 15,673人</p>	<p>出品者、観覧者数がともに減少傾向にある</p>

事業名(所属)	目的・内容等	R3年度の実績	現状・課題
新潟県文化振興財団補助金(再掲) (文化課)	<p>◇新潟県における県民文化の高揚を図り、県民の生活向上と文化の発展に寄与するため、その担い手となる新潟県文化振興財団に対して、活動に要する経費を補助し、支援する。</p> <p>【R3年度実施内容】</p> <p>(1) 芸術文化普及・ホール活性化支援事業 日頃「生の演奏」に接する機会の少ない県民に「身近で手頃な」鑑賞機会を提供するとともに、低迷する地域のホールの活性化を支援するため、県内各地域と共催で各種公演を実施。 (ア) マイタウンコンサート (イ) 舞台芸術を活用した県民参加・体験拡大プロジェクト</p> <p>(2) 地域中核ホール活性化支援事業 県民会館で培ったノウハウをもとに、概ね1,500席程度の地域中核ホールと協働し、質の高い公演を実施。 (ア) 新潟県文化振興財団40周年記念事業「ふれあいホッとコンサート」 (イ) 劇団四季ミュージカル「The Bridge～歌の架け橋～」</p> <p>(3) ふれあいホッとコンサート 身体的な理由等でホールに足を運べない人々を対象にしたアウトリーチによるコンサート(高齢者施設、病院、特別支援学校で実施)</p> <p>(4) 新潟ステージチャンネル魅力発信事業 新型コロナウイルスの感染拡大により、活動の場を失った文化団体等を支援するため、Youtubeの「新潟ステージチャンネル」で、活動動画を公募し、配信することで活動の場を提供した。</p>	<p>(1) 入場者数 (ア) 569人 (イ) 2,801人</p> <p>(2) 入場者数 (ア) 855人 (イ) 967人</p> <p>(3) 実施施設数 1施設 (実施した会場のDVD動画を作成し、4施設でDVD鑑賞会を実施)</p> <p>(4) 公募配信動画 一般80件、学校13件</p>	財団の効率的、効果的な事業の実施
県庁芸術の広場事業(県庁ギャラリー) (文化課)	<p>◇県庁2階西回廊ギャラリースペース及び18階展望ギャラリースペースを県民の文化活動の成果発表の場として運営し、来庁者に芸術等を鑑賞する機会を提供することにより、文化芸術活動へ意識の高揚を図る。</p> <p>&lt;募集、選考&gt; 1年を上半期、下半期の2回に分けて募集し、文化課で選考を行い、展示計画を決定する。 (各市町村や文化施設等へ募集案内を配付・県庁ホームページに掲載)</p> <p>[展示期間] 各作品の展示は2週間～1ヶ月程度</p>	<p>&lt;応募&gt; 上期: 20団体 下期: 16団体</p> <p>&lt;展示&gt; 上期: 16団体 下期: 16団体</p>	展示希望者数が減少傾向にある。
美術館・博物館等支援事業 (文化課)	<p>◇新型コロナウイルス感染症の影響により来館者数が減少し、厳しい運営状況にある県内の美術館・博物館等を支援するため、周遊パスポートの販売や情報発信等を実施することにより、施設への誘客を促進する。</p> <p>R3年度 ・周遊パスポートの販売による入館料支援 ・スタンプラリーの実施による誘客支援 ・県内美術館・博物館等の情報発信</p>	<p>パスポート販売実績 3,428枚(大人3,346枚 子供82枚)</p> <p>参加施設 ・パスポート対象施設 54施設 ・スタンプラリー対象施設 90施設 ・情報発信 134施設</p>	<p>・参加館からは誘客につながる取組として効果的であったという声が聞かれた。 ・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、パスポートの販売数が目標値に届かなかった。 ・より幅広い世代の目にとまる情報発信の必要性があった。</p>
企画展等開催 (県立歴史博物館)	<p>◇新潟県の歴史及び民俗並びに縄文文化に関する県民の教養を高め、県民の文化的・学術的活動を支援するとともに、リピーターを含めた多数の来館者を確保するため、魅力ある展覧会等を開催する。</p> <p>&lt;各企画展の内容(年2回開催)&gt; (ア) 春季「博覧会の世紀1851-1970」 (イ) 夏季「日蓮聖人と法華文化」</p> <p>◇R2年度より「拡大常設展」という位置づけで企画展示室を活用した展覧会活動を行う。今後、「テーマ展示」と称して実施する。</p> <p>&lt;各テーマ展示の内容&gt; (ア) 秋期「四季の暮らし、小さなまつりー新潟県の年中行事ー」 (イ) 冬季「やきもの産地・新潟」</p>	<p>&lt;企画展&gt;観覧者数 (ア) 3,689人 (イ) 4,483人</p> <p>&lt;テーマ展示&gt;観覧者数 (ア) 4,526人 (イ) 2,938人 ※拡大常設展の位置づけであるため、常設展観覧者数</p>	<p>・施設、設備の老朽化 ・開催経費、広報担当職員の減少</p>
ルネサンス事業 (再掲) (県立図書館)	<p>(ア) 秋の読書週間記念講演会 (イ) 暮らし応援講座 (ウ) 各種こどもイベント (エ) ふるさと講座 (オ) 地域映像の上映会</p>	参加総数(ア)～(オ) 85人	コロナ禍により集合型での開催が難しいため、オンライン講座を実施した。

事業名(所属)	目的・内容等	R3年度の実績	現状・課題
ギャラリー展示 (県立図書館)	◇エントランスの展示スペースを利用して、絵画、写真、書道などの芸術作品の展示会、行政機関による広報や普及啓発パネル展等を開催。	開催数 17回	「県読書おたよりコンクール作品展」市町村図書館巡回展示の試行実施。
小規模図書館等 セット図書長期一 括貸出(再掲) (県立図書館)	◇読書環境の整備と読書活動を支援する。 ・県内の小規模自治体の図書館及び公民館の図書室に対して、 図書(1セット100冊)を長期一括貸出をする。	貸出市町村数 8市町村  貸出総数 7,800冊	現行29セットで運用しているが、市町村のニーズに沿った新規セット図書の充実が課題となっている。
相互貸借(再掲) (県立図書館)	◇県立図書館から遠い地域に住む県民が、市町村立図書館・公民館図書室(以下「市町村」)を通して当館資料を利用できるようにする。 ・市町村へ貸し出す際の物流費を負担する。	貸出冊数 7,494冊 (うち市町村6,308冊)	平成30年度に市町村立図書館への物流費を県が負担することで1,000冊弱貸出冊数が増えたが、その後は頭打ちとなっている。県民のサービスに対する認知度が低い。
対面朗読(再掲) (県立図書館)	◇利用者の求めに応じて、当館所蔵資料の読み上げや図版の説明等を行う。	利用人数 0人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休止中	サービス開始以来、利用数が少ないことが課題であった。広報を充実させる必要がある。
共同研修室の提供 (県立図書館)	◇グループへの共同研修室の提供	登録団体数 40団体	新型コロナウイルス感染症対策のため、R2年度より利用可能な時間と定員を制限している。
遠隔地返却サービス(再掲) (県立図書館)	◇新潟県立図書館で借り受けた資料を利用者の居住地(新潟市を除く)の図書館に返却できるサービス。	利用冊数 2,298冊 利用件数 716件	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用が低調である。手続きが煩雑であり、利用者、市町村図書館、当館職員それぞれに負担がある。
サビエ図書館 サービス(再掲) (県立図書館)	◇音声デジター図書などが多く収められている「サビエ図書館」を利用し、音声デジター図書などのデータをCD-ROMにダウンロードして貸出すほか、点字の本などを他の図書館から取り寄せることができるサービス。	貸出タイトル数 233タイトル	サービスの利用者が固定されており、新規の利用者が少ない。広報を充実させ、利用促進を図る必要がある。
団体貸出サービス(再掲) (県立図書館)	◇県内に所在、または活動している団体向けに、一度に50冊まで・30日間資料を貸出するサービス。以下のA・B2つのサービスがある(令和元年度から実施)。  A: 読書の場づくり支援サービス 施設等に入所中で来館が難しい方や、活字による読書が難しく個人での図書館利用が困難な方が入所・所属する団体の読書環境の充実を支援するサービス  B: 子どもの読書普及活動支援サービス 様々な読書体験を通じて、豊かな感性をはぐくむ機会が持てるよう、子ども向けの読書普及活動を行う団体の活動内容の充実を支援するサービス	貸出冊数 1,510冊	利用団体数が少なく、また新潟市外の団体に利用されていない。団体貸出の広報を強化するとともに、登録条件や貸出できる資料の範囲などを見直し、より利用しやすいサービスになるよう検討する必要がある。
近代美術館・万代島美術館展覧会事業 (県立近代美術館、県立万代島美術館)	◇優れた作品を鑑賞する機会を広く県民に提供する。 (ア)近代美術館 a コレクション展 b 企画展 R3 3/20-6/6 Viva Video! 久保田成子展 7/3-8/29 よみがえる正倉院宝物 9/18-11/14 高畑勲展  (イ)万代島美術館 a 所蔵品展 (R2-R4実施なし) b 企画展 R3 3/20-5/5 芳年 7/3-9/5 大地のハンター展 9/18-11/7 コレクター福富太郎の眼 1/20-4/10 サンリオ展	観覧者総数 (ア) 41,425人  (イ) 92,666人	(ア) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、来館者への感染を防止する対策の徹底が求められている。  (イ) a 観覧料収入に対して支出が嵩むため、予算が厳しい現状では、実施の目的がたたない。 b 一度収益前提のマイナス財で予算を組んだことが継続されてしまっている。

事業名(所属)	目的・内容等	R3年度の実績	現状・課題
万代島美術館教育普及事業(一部再掲) (県立万代島美術館)	◇県民に美術館情報を提供するとともに、作品鑑賞の理解を助ける。 ・展覧会案内等の発行、講演会等の実施 他	展覧会案内等の発行 美術講演会実施数 0回	—
芸術文化事業 (新潟県民会館)	◇県民の生活の向上と、教育、文化の発展に寄与するため、講演、音楽、舞踊、演劇等の芸術文化事業を実施する。  (ア) 鑑賞事業 (イ) 普及事業 (ウ) 育成事業	実施回数 (ア) 歌舞伎 0 公演 ミュージカル 2公演 音楽 2公演 舞踊 0 公演 展示 5会場 (R3休館のため、他施設を活用して実施) (イ) セミナー・ワークショップ、 アウトリーチ等 6回 (ウ) 講座 0回 (新型コロナウイルス感染症の影響により中止)	新型コロナウイルスの影響による中止など、計画どおりに実施できない事業もあったが、来場者アンケートからは引き続き、高い満足度をいただいている。
貸館事業 (新潟県民会館)	◇県民の生活の向上と、教育、文化の発展に寄与するため、施設の貸与を行う。  (ア) 大ホール 大規模な舞台芸術公演や法人・学校の式典、各種コンベンションなど幅広い用途に活用。  (イ) 小ホール 室内音楽や小劇場系劇団の公演の他、各種芸術団体の練習・発表会など、小・中規模の用途に対応。  (ウ) ギャラリー(2室) 各種芸術団体の美術展や書道展などの利用に加え、多様なジャンルの企画展の会場として幅広く利用。  (エ) 会議室(4室) 近隣に類似の施設が少ないメリットを有することから、会議や研修、説明会、面接等、多様な用途に対応。	利用日数 (ア) 0日 (イ) 0日 (ウ) 0日(2室合計) (エ) 0日(4室合計) (改修工事に伴いR2.9.12～R4.3.31休館)	R2～R3の休館や新型コロナウイルスの影響により、R4～の利用予約が、休館前に比べて減少傾向にある。
県民ホールギャラリー展示 (南魚沼地域振興局企画振興部)	◇南魚沼地域振興局1階県民ホールギャラリーに南魚美術協会会員の美術作品を展示し、発表の場を提供するとともに管内の芸術・文化活動を支援する。	・絵画展示 4点 ・写真展示 6点 ・書道展示 3点 ・彫刻展示 4点	地域住民の芸術文化活動への意欲的な参加と活動の一層の促進を図る必要がある。

## 【重点的取組②に関連する事業】

事業名(所属)	目的・内容等	R3年度の実績	現状・課題
出前体験教室 (R4～名称変更「文化芸術ふれあい提供事業」出前体験教室) (文化課)	◇次世代を担う若い世代に本物の文化芸術に触れる機会を提供するとともに、県内で文化芸術活動を行っている芸術家の活躍の場を広げる。 ・小中学生を対象に出前教室を開催	参加者数 1,548人 (県内20校)	新型コロナウイルス感染症の影響により依然として、芸術の鑑賞機会が限られている。
出前授業 (県立歴史博物館)	◇歴史博物館職員が学校へ赴き、まが玉作り、雪道具体験などの体験活動を実施する。	実施数 14回 参加者数 661人	・新型コロナによる件数の減少 ・人員減少削減により、日程や人員の調整に苦慮している
体験プログラム (県立歴史博物館)	◇研修室にて日曜日に実施。 [主な活動] (ア) ミニ灯笼作りに挑戦! (イ) 縄文模様コロコロ体験 (ウ) まが玉作り (エ) 織物模様プラ板ストラップを作ろう! 等	実施数 55回 参加者総数 811人	・新型コロナ感染症対策として人数制限を実施

事業名(所属)	目的・内容等	R3年度の実績	現状・課題
新潟県ジュニア美術展負担金(教育庁義務教育課)	◇県内の学校等の美術教育の振興を図る。 [対象] 県内幼稚園、小・中学校、特別支援学校等 [会場] 県内4会場	出品数 23,814点	少子化により出品数が年々減少傾向にある。
新潟県ジュニア合奏大会(教育庁義務教育課)	◇幼・保・小中特別支援学校の園児・児童・生徒の器楽教育の向上及び芸術文化に対する愛好心を育てるとともに、小中学生における芸術文化活動の振興を図る。 [種目] 器楽演奏 [出場資格] 県内幼稚園・保育園・小・中特別支援学校の園児・児童・生徒で編成する合奏団 [会場] りゅーとびあ新潟市民芸術会館	中止(新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため)	—
出前講座(一部再掲)(県立近代美術館、県立万代島美術館)	◇地域団体・機関と連携した事業として、当館学芸員等を講師として派遣し、美術館や作品鑑賞に関わる理解を深める。 (ア)近代美術館 9回開催 (イ)万代島美術館 4回開催	参加者数 (ア)開催回数 21件 43コマ 参加者数 1,178名  (イ)479人(4回)	(ア)広く小中高にプログラムを案内し、事業の周知を図ったことにより、例年より多くの申込があった。教育現場におけるICT機器活用の進展への対応が課題。  (イ)学校や各種団体の依頼に応じて、展覧会や県出身作家等をテーマに開催。準備に時間がかかるため、当館の学芸員数では対応が難しい場合がある。
自然科学知識普及活動(県立自然科学館)	(ア) 展示による体験学習 「自然の科学」「生活の科学」「不思議な広場」「新潟県の移り変わり」などの屋内展示エリアと屋外展示エリアにおける展示物は来館者が体験できるハンズオン展示として提供。  (イ) 特別展示により体験学習 より多くの人が科学に興味をもつような特定のテーマや即時性の強いテーマによる特展や特別イベント等を開催する。  (ウ) プラネタリウムによる体験学習 一般番組と学習番組を投影し、天文解説を行う。  (エ) 実験等による参加型体験学習 専門家(研究者・指導者)や科学館スタッフによる科学教室やワークショップ等の体験型プログラムを実施し、参加者が実感をもって理解し、自己啓発できる機会を提供する。	入館者数(ア)～(エ) 172,481人  (イ)特別展・企画展入場者数 53,881人  (ウ)プラネタリウム観覧者数 44,793人  (エ)プログラム参加者数 6,610人	(ア)展示による体験学習 展示物の老朽化により故障や破損が多く、入手困難な部品もあり修理にも時間と費用がかかる。 また、展示内容が陳腐化しており、来館者に効果的な体験や情報の提供が十分に出来ていない。  (ウ)プラネタリウムによる体験学習 ドーム設備(イス・ドームスクリーン)の老朽化により破損も多く、快適で効果的な学習環境の提供に影響あり。  (エ)実験等による参加型体験学習 科学室や講堂の設備が老朽化しており快適で効果的な学習環境の提供に影響あり。

### 【重点的取組③に関連する事業】

事業名(所属)	目的・内容等	R3年度の実績	現状・課題
文化団体事業費補助金(再掲)(文化課)	◇文化活動の活発な展開と個性豊かな県民文化の創造と発展のため、県全域にわたり広域的な活動を行う文化団体を支援する。  ・活動に要する経費を補助する。 (文化団体事業費補助金、分野別文化団体事業費補助金)	<R3補助対象団体> ○文化団体事業費補助金 ・新潟交響楽団 ・新潟県工芸会 ・新潟県美術家連盟 ・現代工芸新潟会 2,102,000円 ○分野別文化団体事業費補助金 ・新潟県合唱連盟 ・新潟県華道連盟 ・新潟県洋舞踊協会 1,623,000円 ※新潟県茶道連盟・新潟県民謡協会・新潟県邦楽連盟・新潟県能楽連盟は新型コロナウイルス感染症の影響で事業中止	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い活動の中止等が相次いでいる。

事業名(所属)	目的・内容等	R3年度の実績	現状・課題
新潟県文化振興財団補助金(再掲) (文化課)	<p>◇新潟県における県民文化の高揚を図り、県民の生活向上と文化の発展に寄与するため、その担い手となる新潟県文化振興財団に対して、活動に要する経費を補助し、支援する。</p> <p>&lt;文化活動支援事業&gt; 県民の文化への関心を高め、自主的な文化活動の活発な展開と個性豊かな県民文化の振興に寄与するため、県内の文化団体の自主的な文化活動に係る事業に対し助成を行う。また、次代を担う若手美術家の育成を図るため、公募総合展において優秀な成績を収めた者に公益財団法人新潟県文化振興財団賞を授与する。</p> <p>(ア) 県民文化活動推進事業 (イ) 国民文化祭参加事業 (ウ) 郷土の文化人顕彰事業 (エ) 新潟県総合美術展褒賞事業</p>	<p>(ア) 助成件数 11件 助成額 6,040千円</p> <p>(イ) 助成件数 4件 助成額 274千円</p> <p>(ウ) (公財)文化の記憶館に委託(企画展を3回実施) 事業費 9,750千円</p> <p>(エ) 県展7部門、芸展6部門に対して賞を授与 事業費 509千円</p>	財団の効率的、効果的な事業の実施
研修・研究会の開催 (県立図書館)	・県内公共図書館職員や協議会委員を対象に、各種の研修や研究会を実施	実施数 36回	コロナ禍により集合型での開催が難しい場合があったため、オンライン形式でも実施した。
博物館実習 (県立近代美術館、県立万代島美術館)	<p>◇学芸員取得を目指す学生等のために行う事業</p> <p>(ア)近代美術館で実施 (イ)万代島美術館で実施</p>	<p>参加者数 (ア) 学生6名 (イ) 学生5名</p>	<p>(ア)新型コロナ感染拡大時期において、県外からの実習生の受入れ等、状況の変化に応じて判断や対応を行った。</p> <p>(イ)コロナ禍においては、参加人数を限定し、国のガイドラインに沿って安全に配慮して実施せざるを得ず、従来と同じようなやり方ができない。 施設や所管作品等の制約から当館で実施しにくい講義内容もある。また、コロナ対策のため、昨年度につづき今年度も近代美術館に向いての実施は見合せざるを得なかった。</p>
学習支援活動 (県立自然科学館)	<p>(ア) 学校と連携した総合学習支援 小・中学校理科の新学習指導要領を軸に総合的、発展的な学習のための活動を学校と連携しながら実施する。(展示を活用した学習プログラム・学校を訪問して実験や実演等の活動を行う訪問講義)</p> <p>(イ) 研修・実習協力 学芸員の専門実習や人材育成、キャリア教育のための職場実習・体験の実施について協力を行う。(博物館実習・インターンシップ・職場体験)</p> <p>(ウ) 生涯学習活動支援 生涯学習センターや県内の文化施設等と連携して県民向けの生涯学習活動を推進する。また、さまざまなキャリアや知識、技能を有する県民がボランティアとして自然科学館事業に参画する機会を設ける。</p>	<p>(ア)訪問講義数 3校</p> <p>(イ) 博物館実習 6名 インターンシップ 3名 職場体験 9名</p> <p>(ウ) 連携団体数 16団体 イベント参加数 13,751人 ボランティア登録数 38人</p>	充実したアウトリーチ活動を行うためのリソース(人・時間)が十分でない。
県民ホールギャラリー展示(再掲) (南魚沼地域振興局企画振興部)	◇南魚沼地域振興局1階県民ホールギャラリーに南魚美術協会会員の美術作品を展示し、発表の場を提供するとともに管内の芸術・文化活動を支援する。	<p>・絵画展示 4点 ・写真展示 6点 ・書道展示 3点 ・彫刻展示 4点</p>	地域住民の芸術文化活動への意欲的な参加と活動の一層の促進を図る必要がある。

【重点的取組④に関連する事業】

事業名(所属)	目的・内容等	R3年度の実績	現状・課題
県庁芸術の広場事業(県庁ギャラリー)(再掲)(文化課)	<p>◇県庁2階西回廊ギャラリースペース及び18階展望ギャラリースペースを県民の文化活動の成果発表の場として運営し、来庁者に芸術等を鑑賞する機会を提供することにより、文化芸術活動へ意識の高揚を図る。</p> <p>&lt;募集、選考&gt; 1年を上半期、下半期の2回に分けて募集し、文化課で選考を行い、展示計画を決定する。 (各市町村や文化施設等へ募集案内を配付・県庁ホームページに掲載)</p> <p>[展示期間] 各作品の展示は2週間～1ヶ月程度</p>	<p>&lt;応募&gt; 上期:20団体 下期:16団体</p> <p>&lt;展示&gt; 上期:16団体 下期:16団体</p>	<p>展示希望者数が減少傾向にある。</p>
歴史博物館維持管理(県立歴史博物館)	<p>◇新潟県の歴史及び民俗ならびに縄文文化に関する県民の教養を高め、県民の学術及び文化の発展に寄与するために設置された県立歴史博物館を円滑な管理を行う。</p>	<p>利用者総数 40,472人</p>	<p>・施設、設備の老朽化 ・新型コロナによる利用者数の減少</p>
出前講座(県立歴史博物館)	<p>◇歴史博物館の研究員の調査・研究活動の成果を広く県民普及させるため、県内各市町村と連携し、各市町村の会場等で講座を実施する。</p> <p>[主な内容] (ア) 戦国時代の女 (イ) 長岡藩の一兵士の日記にみる北越戊辰戦争 (ウ) まつりの食文化 (エ) 江戸時代の旅と越後の観光名所 ほか29回</p>	<p>参加数 914人 (計33回実施)</p>	<p>・依頼元の偏在傾向が見られる</p>
出前授業(再掲)(県立歴史博物館)	<p>◇歴史博物館職員が学校へ赴き、まが玉作り、雪道具体験などの体験活動を実施する。</p>	<p>実施数 14回 参加者数 661人</p>	<p>・新型コロナによる件数の減少 ・人員減少削減により、日程や人員の調整に苦慮している</p>
体験プログラム(再掲)(県立歴史博物館)	<p>◇研修室にて日曜日に実施。</p> <p>[主な活動] (ア) ミニ灯笼作りに挑戦! (イ) 縄文模様コロコロ体験 (ウ) まが玉作り (エ) 織物模様プラ板ストラップを作ろう! 等</p>	<p>実施数 55回 参加者総数 811人</p>	<p>・新型コロナ感染症対策として人数制限を実施</p>
講座・講演会(県立歴史博物館)	<p>◇当館研究員の「調査・研究」活動の成果を広く県民に普及する場として、また、県民の多様なニーズに即した生涯学習の場とするため。</p> <p>・各種講座・講演会等の実施</p> <p>[主な内容] (ア) 古文書講座 (イ) 企画展関連講演 (ウ) 企画展関連講座 (エ) 見学会</p>	<p>実施数 38回</p> <p>参加者数 710人</p>	<p>・新型コロナ感染症対策として人数制限を実施</p>
維持管理 図書館等維持補修・図書館等改修(県立図書館)	<p>・図書館施設の適切管理</p>	<p>37,861千円</p>	<p>【経年劣化の進行】 ・当地に移転して30年が経過するが、躯体・機器等の更新時期を迎えつつあるが、それらに対応する明確な「更新計画」と財源確保について検討を要する。</p>
ギャラリー展示(再掲)(県立図書館)	<p>・エントランスの展示スペースを利用して、絵画、写真、書道などの芸術作品の展示会、行政機関による広報や普及啓発パネル展等を開催。</p>	<p>開催数 17回</p>	<p>「県読書おたよりコンクール作品展」市町村図書館巡回展示の試行実施。</p>
共同研修室の提供(再掲)(県立図書館)	<p>◇グループへの共同研修室の提供</p>	<p>登録団体数 40団体</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対策のため、R2年度より利用可能な時間と定員を制限している。</p>

事業名(所属)	目的・内容等	R3年度の実績	現状・課題
近代美術館・万代島美術館教育普及事業(再掲) (県立近代美術館、県立万代島美術館)	◇県内外に広く美術館情報を提供するとともに、作品の鑑賞と理解を助ける。 (ア) 近代美術館 巡回ミュージアム、美術講演会、映画鑑賞会、美術鑑賞講座、出前講座、ワークショップ、作品解説会等 (イ) 万代島美術館 ・美術講演会、美術鑑賞講座、ワークショップ、コンサート、作品解説会等	参加総数 (ア) 1,008人 (イ) 947人	コロナ禍の状況を踏まえ、講演会 は中止(youtube配信に切替)、 ワークショップ、コンサートは計画 せず。／鑑賞講座・解説会は参 加者の安全に配慮して実施。／ 学校団体等の依頼で出前講座を 実施。 感染症の拡大状況に応じた対応 (事業の延期・中止など)の判断 時期が難しい。
新潟県史跡等及び埋蔵文化財公開活用事業 (文化課)	◇県埋蔵文化財センター等で史跡等及び埋蔵文化財の総合的な公開活用を推進する。 [主な内容] (ア) 講演会等(14回) (イ) 親子・少年少女考古学教室、青少年文化財講座 (ウ) 小中学校学習受入・出前授業等 (エ) 現地説明会・出張展示(2回) (オ) 埋文センター企画展(3回)・常設展観覧等	参加者数 (ア) 718人 (イ) 128人 (ウ) 3,302人 (エ) 553人 (オ) 11,596人	(ア)講演会等 年々参加応募者が増加する一 方、参加者年齢層が固定化する 傾向が顕著で、特に青年層の参 加率の低さに課題がある。
近代美術館の維持管理 (県立近代美術館)	◇県立近代美術館を良好な環境で県民の利用に供するため、施設の適正管理を図る	87,092千円	平成5年開館以降大規模改修が 完了していないため、施設の老 朽化、設備の陳腐化が顕著であ る。
出前講座(再掲) (県立近代美術館、県立万代島美術館)	◇地域団体・機関と連携した事業として、当館学芸員等を講師として派遣し、美術館や作品鑑賞に関わる理解を深める。 (ア)近代美術館 9回開催 (イ)万代島美術館 4回開催	参加者数 (ア)開催回数 21件 43コマ 参加者数 1,178名  (イ)479人(4回)	(ア)広く小中高にプログラムを案内 し、事業の周知を図ったことによ り、例年より多くの申込があった。 教育現場におけるICT機器活用 の進展への対応が課題。  (イ)学校や各種団体の依頼に応じ て、展覧会や県出身作家等を テーマに開催。 準備に時間がかかるため、当館 の学芸員数では対応が難しい場 合がある。
県民会館の維持管理 (新潟県民会館)	◇新潟地震の復興を記念して、県民生活の向上と教育文化の発展に寄与するために建設された県民会館の管理運営を行う。 ※平成18年から指定管理制度へ移行し、効率的な会館運営を図っている。	使用料収入 26,249千円 (R3休館中も、R4～の利用 受付)	H27年度から、同じ白山地区にあ るりゅーとびあ、音楽文化会館と 一体的管理を行っている。
芸術文化事業 (再掲) (新潟県民会館)	◇県民の生活の向上と、教育、文化の発展に寄与するため、施設講演、音楽、舞踊、演劇等の芸術文化事業を実施する。 (ア) 鑑賞事業 (イ) 普及事業 (ウ) 育成事業	実施回数 (ア) 歌舞伎 0 公演 ミュージカル 2公演 音楽 2公演 舞踊 0 公演 展示 5会場 (R3休館のため、他施設を 活用して実施) (イ) セミナー・ワークショップ、 アウトリーチ等 6回 (ウ) 講座 0回 (新型コロナウイルス感染症 の影響により中止)	新型コロナウイルスの影響による 中止など、計画どおりに実施でき ない事業もあったが、来場者アン ケートからは引き続き、高い満足 度をいただいている。
貸館事業(再掲) (新潟県民会館)	◇県民の生活の向上と、教育、文化の発展に寄与するため、施設の貸与を行う。 (ア) 大ホール 大規模な舞台芸術公演や法人・学校の式典、各種コンベンションなど幅広い用途に活用。 (イ) 小ホール 室内音楽や小劇場系劇団の公演の他、各種芸術団体の練習・発表会など、小・中規模の用途に対応。 (ウ) ギャラリー(2室) 各種芸術団体の美術展や書道展などの利用に加え、多様なジャンルの企画展の会場として幅広く利用。 (エ) 会議室(4室) 近隣に類似の施設が少ないメリットを有することから、会議や研修、説明会、面接等、多様な用途に対応。	利用日数 (ア) 0日 (イ) 0日 (ウ) 0日(2室合計) (エ) 0日(4室合計) (改修工事に伴いR2.9.12～ R4.3.31休館)	R2～R3の休館や新型コロナウイ ルスの影響により、R4～の利用 予約が、休館前に比べて減少傾 向にある。

事業名(所属)	目的・内容等	R3年度の実績	現状・課題
自然科学館の維持管理 (県立自然科学館)	◇未来を担う青少年に科学的知識を普及し、創造性を滋養することを目的に設置された県立自然科学館の円滑な運営を行う。 ※平成18年から指定管理制度に移行し、効率的な科学館運営を図っている。	利用者 172,481人	施設全体(特に設備・インフラ)の老朽化により維持管理の時間と費用が増加
自然科学知識普及活動(再掲) (県立自然科学館)	(ア) 展示による体験学習 「自然の科学」「生活の科学」「不思議な広場」「新潟県の移り変わり」などの屋内展示エリアと屋外展示エリアにおける展示物は来館者が体験できるハンズオン展示として提供。  (イ) 特別展示により体験学習 より多くの人々が科学に興味をもつような特定のテーマや即時性の強いテーマによる特展や特別イベント等を開催する。  (ウ) プラネタリウムによる体験学習 一般番組と学習番組を投影し、天文解説を行う。  (エ) 実験等による参加型体験学習 専門家(研究者・指導者)や科学館スタッフによる科学教室やワークショップ等の体験型プログラムを実施し、参加者が実感をもって理解し、自己啓発できる機会を提供する。	入館者数(ア)～(エ) 172,481人  (イ)特別展・企画展入場者数 53,881人  (ウ)プラネタリウム観覧者数 44,793人  (エ)プログラム参加者数 6,610人	(ア)展示による体験学習 展示物の老朽化により故障や破損が多く、入手困難な部品もあり修理にも時間と費用がかかる。 また、展示内容が陳腐化しており、来館者に効果的な体験や情報の提供が十分に出来ない。  (ウ)プラネタリウムによる体験学習 ドーム設備(イス・ドームスクリーン)の老朽化により破損も多く、快適で効果的な学習環境の提供に影響あり。  (エ)実験等による参加型体験学習 科学室や講堂の設備が老朽化しており快適で効果的な学習環境の提供に影響あり。
万代島美術館維持管理 (県立万代島美術館)	◇美術館施設の適切な維持管理	利用者総数 93,613人	同居しているビルの管理会社と相談しながら、施設の維持管理に当たっている。設立から20年近くになり、空調機器の更新、照明のLED化といった課題が切実であるが、以前から予算手当ができず、改修の目途が立たない。

## 【参考2】 県の取組（施策の柱4 関連）

### 【施策の柱4】

文化を通じた交流・発信の拡大

#### 〈重点的取組〉

- ①文化の観光振興、産業振興等への活用
- ②文化情報の発信力の強化
- ③地域間の文化交流促進

### 【重点的取組①に関連する事業】

事業名(所属)	目的・内容等	R3年度の実績	現状・課題
観光地域づくり支援事業 (観光企画課)	<p>◇滞在型・着地型観光を推進するため、地域固有の観光資源の魅力向上や受入体制整備を図る取組、本県の観光ブランドイメージをけん引する取組及び文化やスポーツの分野と連携することにより交流人口拡大が期待できる取組の推進を総合的に支援する</p> <p>(ア) 新潟観光ブランド創出支援事業 (補助率4/10 上限5,000千円。但し、知事が認める場合10,000千円) ※R4要綱改正により、既存の「広域連携創出支援」と「キラーコンテンツ確立支援」に加え、「観光・文化・スポーツの連携支援」を補助対象に加え、名称も「新潟観光ブランド確立支援事業」から「新潟観光ブランド創出支援事業」に変更</p> <p>(イ) 感染症対策発信支援事業 (旧: 観光施設ガイド整備支援事業) (補助率4/10 上限250千円) ※R4廃止</p>	補助金件数 1件	<p>・アフターコロナに向け、地域が持続的に観光振興を図っていくためには、誘客コンテンツの定着に向けた支援が必要。</p> <p>・一方で、新型コロナウイルスの感染拡大の影響による観光需要の低迷で、観光事業者は、前向きな投資意欲が低下。</p> <p>・本補助金への申請件数も年々減少していることから、一程度の自己負担額が必要となる本補助金の魅力が低下。</p>
観光基盤整備事業補助金 (観光企画課)	<p>◇地域の核となる先導的な観光振興のための施設整備を支援し、観光立県の推進の基盤となる観光地づくりを進める。</p> <p>・市町村の施設整備を支援する。 (補助率4/10 上限30,000千円)</p>	補助金件数 1件	<p>・観光地としての魅力向上及び交流人口拡大を図るためには、市町村等が行う地域の基盤となる観光施設の整備に対する支援が必要。</p>
新潟発！縄文からつづく文化の魅力体験・発信事業(再掲) (文化課)	<p>◇東京2020オリンピック・パラリンピックを契機に日本の文化の魅力が国内外に発信する国の文化プログラム「日本博」を活用し、本県の特徴ある文化の魅力が体験できるツアーやイベントを県内各地で実施し、観光インバウンド等交流人口の拡大を目指すとともに、地域文化のさらなる魅力向上や文化イベントにおける情報保証等の充実を図りアクセシビリティの向上を図る。</p> <p>(ア) 縄文の魅力体験・発信事業 縄文文化の魅力体験モニターツアー、縄文ジオラマ体験と解説ガイド</p> <p>(イ) 縄文からつづく太鼓文化の魅力体験・発信事業 太鼓の演奏会、太鼓ワークショップ、文化資料展示</p> <p>(ウ) 豪農・豪商文化や雪国文化などの魅力体験・発信事業 庭園・お屋敷を会場とした週末文化体験 雪国のくらしを知る週末文化体験</p> <p>(エ) PR動画等による魅力及び情報発信 多言語対応型PR動画やWEBページを活用した魅力発信、海外インフルエンサー等による国内外への情報発信</p>	<p>【参加者数】 (ア) 縄文文化 ・ツアー: 45人(うち外国人18人) ※バスツアー2本 ・解説ガイド: 39人(うち外国人5人)</p> <p>(イ) 太鼓文化(無観客LIVE配信) ・太鼓演奏会: 504人 ※太鼓体験及び文化資料展示は、無観客開催のため中止</p> <p>(ウ) 豪農・豪商文化、雪国文化 ・豪農・豪商ツアー: 58人(うち外国人45人) ※バスツアー1本、オンラインツアー1本</p> <p>・雪国ツアー: 37人(うち外国人35人) ※オンラインツアー1本</p>	<p>新型コロナウイルスの影響により、海外旅行客が参加出来ず、海外への情報発信が限定的となっている。</p> <p>アフターコロナを見据え、本県の特徴ある地域文化を活用した交流人口の拡大が必要とされている。</p>
新潟県文化芸術団体・イベント等マッチング事業(再掲) (文化課)	<p>◇新型コロナウイルス感染症の影響により、活動の場が減少した芸術家が事業者等とのマッチングによる新たな活動場所を確保することにより、文化芸術活動の維持・継続を図る(R3～)。</p> <p>・県が、県内芸術家と事業者等とのマッチングを行い、新たな活動を行う際に必要な経費の一部を補助する。</p>	<p>①実施 7会場 ②マッチング数 10組</p>	<p>実施初年度による制度の周知不足から申請件数が伸び悩んだ。</p>

事業名(所属)	目的・内容等	R3年度の実績	現状・課題
錦鯉振興対策事業 (水産課)	◇県内の錦鯉養殖産業の振興を図る。 (ア) 新潟県錦鯉品評会の開催 (イ) 本県特産錦鯉の普及宣伝及び魚病対策等の事業に要する経費に対する助成	出品数 (ア) 615尾 来場者数 939人	新潟県は品評会等を通じて、錦鯉の知名度向上に努めているが、KHVウイルス等が検出されており、経営上のリスクとなっている。
世界遺産登録推進事業 (文化課)	◇佐渡金銀山の世界文化遺産登録を目指し、佐渡市と連携して各種調査や普及啓発等を行う。 (ア) 世界遺産登録事業 (イコモス現地調査、国際的な理解の促進、歴史的経緯に関する調査) (イ) 普及啓発・情報発信事業 (講演会等の開催、学校出前授業・出前講座の実施、普及啓発資料の作成、登録推進県民会議の運営等)	(ア)ユネスコへ提出する推薦書の作成、編集 (イ) 講演会等参加者数 延べ429人 出前授業実施校 149校(県実施分) 出前講座実施団体 12団体(県実施分)	・佐渡金銀山の世界遺産登録に向けて必要となるイコモス現地調査への対応や文化財の保存整備及び国際的な理解促進のための取組の強化を実施。
文化・観光魅力発信事業(再掲) (文化課)	◇県内を5つのエリアに分け、各エリアの文化資源を活用し、本県文化の魅力を発信することで県内への観光入込客数の増加を図る。 (ア)文化資源の掘り起こし (イ)モデルコース制作及びモニターツアーの実施 (ウ)「にいがた観光ナビ」への掲載 (エ)ハンドブック制作 (オ)PR動画制作 (カ)県外における新潟文化への興味喚起につながる話題づくり (キ)WEBを活用した話題づくり	※R4新規事業	県内には魅力的な文化資源が多く存在するが、観光資源として有効に活用されていないため、埋もれている文化資源にスポットを当て、魅力的な観光資源として県外へ発信していくためのツールや環境を整備することが必要である。

### 【重点的取組②に関連する事業】

事業名(所属)	目的・内容等	R3年度の実績	現状・課題
地域文化創造・発信事業(再掲) (文化課)	◇地域の文化に光りを当て、「文化の宝もの」を再発見する契機にするとともに、そこから新たに地域文化を創造・発信することにより、県民が自らの地域に誇りを感じ、生き甲斐をもつことができるようにし、ひいては、住んでみたいくなる新潟県をアピールする。  ・文化ポータルサイト「新潟文化物語」による情報発信 (ア) 幅広い年齢層に訴求する特集、ブログの更新及び新潟文化・体験レポートの掲載 (イ) TwitterなどSNSの活用による情報拡散とサイト誘導 (ウ) リーフレットの配付等によるサイト活用のPR (エ) 県観光協会等との連携強化 (オ) YouTubeへの動画掲載による文化の魅力と情報発信	「新潟文化物語」サイトのアクセス件数 456,009件	(ア)～(ウ)などにより本県文化の情報や魅力を県内外に発信しており、当サイトのアクセス数も増加傾向にあるが、本県の魅力をアピールするためには更なる認知度向上及びアクセス数の増加が課題となっている。
新潟県文化振興財団補助金(再掲) (文化課)	◇新潟県における県民文化の高揚を図り、県民の生活向上と文化の発展に寄与するため、その担い手となる新潟県文化振興財団に対して、活動に要する経費を補助し、支援する。  <情報収集提供事業> 県内の催事情報やアーティスト等の文化情報を、財団の文化情報誌「カルチャーにいがた」、ホームページを通して県民に提供。 (ア) 「カルチャーにいがた」発行事業 県民が広く利用する文化施設、図書館、学校等に無償で配布。 (イ) オンライン情報提供事業 県が管理運営する「新潟文化物語」にイベント情報を一元化し、漏れのない情報を財団ホームページからのリンクで県民に提供。スマートフォンやタブレットでの利用環境を整備するとともに、フェイスブックでの情報発信も開始。	(ア) 「カルチャーにいがた」発行部数 52,000部 (13,000部×年4回)  (イ) HP、フェイスブック等の運営	財団の効率的、効果的な事業の実施

事業名(所属)	目的・内容等	R3年度の実績	現状・課題
新潟発！縄文からつづく文化の魅力体験・発信事業(再掲) (文化課)	<p>◇東京2020オリンピック・パラリンピックを契機に日本の文化の魅力を国内外に発信する国の文化プログラム「日本博」を活用し、本県の特徴ある文化の魅力が体験できるツアーやイベントを県内各地で実施し、観光インバウンド等交流人口の拡大を目指すとともに、地域文化のさらなる魅力向上や文化イベントにおける情報保証等の充実を図りアクセシビリティの向上を図る。</p> <p>(ア)縄文の魅力体験・発信事業 縄文文化の魅力体験モニターツアー、縄文ジオラマ体験と解説ガイド</p> <p>(イ)縄文からつづく太鼓文化の魅力体験・発信事業 太鼓の演奏会、太鼓ワークショップ、文化資料展示</p> <p>(ウ)豪農・豪商文化や雪国文化などの魅力体験・発信事業 庭園・お屋敷を会場とした週末文化体験 雪国のくらしを知る週末文化体験</p> <p>(エ)PR動画等による魅力及び情報発信 多言語対応型PR動画やWEBページを活用した魅力発信、海外インフルエンサー等による国内外への情報発信</p>	<p>【参加者数】</p> <p>(ア)縄文文化 ・ツアー:45人(うち外国人18人) ※バスツアー2本 ・解説ガイド:39人(うち外国人5人)</p> <p>(イ)太鼓文化(無観客LIVE配信) ・太鼓演奏会:504人 ※太鼓体験及び文化資料展示は、無観客開催のため中止</p> <p>(ウ)豪農・豪商文化、雪国文化 ・豪農・豪商ツアー:58人(うち外国人45人) ※バスツアー1本、オンラインツアー1本 ・雪国ツアー:37人(うち外国人35人) ※オンラインツアー1本</p>	<p>新型コロナウイルスの影響により、海外旅行者が参加出来ず、海外への情報発信が限定的となっている。 アフターコロナを見据え、本県の魅力ある地域文化を活用した交流人口の拡大が必要とされている。</p>
大地の芸術祭の開催支援 (観光企画課)	<p>◇大地の芸術祭開催に向けて、地元と一体となり、開催準備を進める。</p> <p>(ア)大地の芸術祭支援担当参事による人的支援 (イ)県の広報媒体等を用いた芸術祭のPR]</p> <p>※R4.4.29～11.13に開催</p>	<p>(ア)実行委員会本部会議等へ出席し、通年化された芸術祭の内容等に係る情報共有及び開催に向けた体制整備を図った。</p> <p>(イ)県からのお知らせ等、県の広報媒体を活用した情報発信の機会を提供した。 パンフレットを県庁内や東京、大阪各事務所へ送付し周知を図った。</p>	<p>—</p>
長岡・柏崎エリアの多様な魅力発信強化事業 (長岡地域振興局企画振興部)	<p>◇管内にある地域資源の魅力をパンフレット等により的確に情報発信することで、交流人口の拡大につなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティFMによる多様な発信力の強化</li> <li>・パンフレットの作成、増刷</li> <li>・ラジオで「峠」のゆかりの地めぐり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存パンフレットの印刷・送付、「良寛いつわ」のFMながおかの番組内での放送及びYouTubeでの配信など</li> <li>・U・I・Jターナーリーフレットの送付</li> <li>・新潟日報への取材</li> </ul>	<p>潜在的なニーズや魅力があるにもかかわらず埋もれているコンテンツや話題性があるのにニッチ過ぎて記事などで取り上げられない地域資源がある。</p>
河井継之助ゆかりの地PR事業 (長岡地域振興局企画振興部)	<p>◇河井継之助を主人公とした映画の公開をPRのチャンスととらえ、河井継之助ゆかりの施設や史跡を活用し、誘客促進と交流活性化を図る。</p> <p>R4年度:</p> <p>(ア)河井継之助セミナーの開催 (イ)「ガトリング砲」の活用によるアピール活動 (ウ)パンフレットスタンドの活用 (エ)河井継之助に関するFacebook記事の投稿 (オ)河井継之助セミナーのケーブルテレビでの放送 (カ)新潟日報映画公開記念特集への広告掲載</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R4映画「峠」公開に向けた意見交換会</li> <li>・河井継之助ミニセミナーの開催</li> <li>・パンフレットスタンドの制作設置</li> <li>・Facebookページ開設</li> <li>・チラシの制作、印刷</li> </ul>	<p>令和4年に、河井継之助を主人公とする映画「峠—最後のサムライ」が公開予定であり、全国的に注目を集めることが期待されている。これを好機と捉え、全国から河井継之助ゆかりの地である長岡地域を訪れてもらうために、地域全体で全国にアピールしていく必要がある。</p>
文化・観光魅力発信事業(再掲) (文化課)	<p>◇県内を5つのエリアに分け、各エリアの文化資源を活用し、本県文化の魅力を発信することで県内への観光入込客数の増加を図る。</p> <p>(ア)文化資源の掘り起こし (イ)モデルコース制作及びモニターツアーの実施 (ウ)「こいがた観光ナビ」への掲載 (エ)ハンドブック制作 (オ)PR動画制作 (カ)県外における新潟文化への興味喚起につながる話題づくり (キ)WEBを活用した話題づくり</p>	<p>※R4新規事業</p>	<p>県内には魅力的な文化資源が多く存在するが、観光資源として有効に活用されていないため、埋もれている文化資源にスポットを当て、魅力的な観光資源として県外へ発信していくためのツールや環境を整備することが必要である。</p>

### 【重点的取組③に関連する事業】

事業名(所属)	目的・内容等	R3年度の実績	現状・課題
北陸地区県立図書館長会巡回展示(県立図書館)	・北陸地区県立図書館長会(福井、石川、富山、新潟)で毎年1テーマを決め、テーマに沿った各館の所蔵資料と司書の選定した関連資料などを巡回で展示する。令和2年度のテーマは「北陸の食文化」。	未実施	令和3年度は石川県立図書館休館のため実施せず。
南山図書館(韓国)との資料交換(県立図書館)	・韓国ソウル特別市にある南山図書館と毎年度50冊ずつ資料の交換を行っている。受け入れた資料は閲覧室内「お隣の国を知るコーナー」に配架し、閲覧に供している。	50冊送付 50冊受け入れ	受入資料のデータベース化は未実施。
正読図書館(韓国)との資料交換(県立図書館)	・韓国ソウル特別市にある正読図書館と北陸地区県立図書館長会で毎年度資料交換を行っている。北陸4県で100冊程度を選定・送付している。正読図書館からの資料は、4県で均等に分配し、受入している。受け入れた資料は閲覧室内「お隣の国を知るコーナー」に配架し、閲覧に供している。	20冊選定 25冊受け入れ	受入資料のデータベース化は未実施。
韓日ハンガウィ祭りin新潟(国際課)	◇韓国の旧盆(ハンガウィ)祭りの新潟での開催による日韓双方の文化体験を通じ、本県と韓国との友好の促進を図る。	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため開催中止	令和2年度及び3年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、開催中止となった。現在も新型コロナウイルスの感染収束が見通せない状況であり、開催については慎重に判断する必要がある。
県多言語ウェブサイトやSNSを活用した情報発信(国際観光推進課)	◇県多言語ウェブサイト(英語・韓国語・簡体字・繁体字・ロシア語)やSNS(Facebook:英語・繁体字、Instagram:英語)を通じて、文化を含めた本県観光情報を発信する。	・県多言語ウェブサイト閲覧数: 261,686PV ・SNSフォロワー数: 計126,597人	入国規制解除後の訪日外国人観光客誘客を見据えた情報発信の強化
FIT向けコンテンツ情報発信・拡散事業(国際観光推進課)	◇インバウンド再開後に増加が予想されるFIT(海外個人旅行)向けコンテンツを充実させるとともに、訴求力のあるクロスメディアにおいて情報を発信する。 ・海外オンライントラベルエージェントと連携した体験型商品の造成 ・バーチャルツアーの実施 ・具体的な予約行動や情報拡散に結びつきやすいメディアでの情報発信・拡散 ・在留外国人と連携した情報発信	・インバウンド向け体験型商品の造成件数: 18件 ・英語、中国、ベトナム向けにバーチャルツアーを計9回開催 ・市場別にインフルエンサーやメディアを活用した情報発信を実施	・入国規制解除後の訪日外国人観光客誘客を見据えた情報発信の強化と、継続的な体験型商品の造成支援
新潟春節祭(国際課)	◇中国の春節(旧暦の正月)の時期に合わせて中国の伝統的な歌、演奏、舞踊などを披露するステージイベント等を開催し、本県と中国との交流推進等を図る。	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため開催中止	令和2年度及び3年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、開催中止となった。現在も新型コロナウイルスの感染収束が見通せない状況であり、開催については慎重に判断する必要がある。
上質なストーリーによるコンテンツ高付加価値化のための調査・実証事業(国際観光推進課)	◇旅行形態の多様化及び高価格化が見込まれるアフターコロナの訪日市場に対応するため、上質なストーリーによる県内観光コンテンツの高付加価値化を図る。	なし	・ガイド人材の強化 ・コンテンツ提供事業者(観光施設等)のストーリーを伝える体制整備

## 【参考2】 県の取組（施策の柱5 関連）

### 【施策の柱5】

文化の保存、記録、継承及び活用

#### 〈重点的取組〉

- ①文化財の保護・継承・活用
- ②文化を継承する人材・団体の支援
- ③佐渡金銀山遺跡の世界遺産登録に向けた取組強化

### 【重点的取組①に関連する事業】

事業名(所属)	目的・内容等	R3年度の実績	現状・課題
企画展等開催 (県立歴史博物館)	<p>◇新潟県の歴史及び民俗並びに縄文文化に関する県民の教養を高め、県民の文化的・学術的活動を支援するとともに、リピーターを含めた多数の来館者を確保するため、魅力ある展覧会等を開催する。</p> <p>&lt;各企画展の内容(年2回開催)&gt;                      (ア) 春季「博覧会の世紀1851-1970」                      (イ) 夏季「日蓮聖人と法華文化」</p> <p>◇R2年度より「拡大常設展」という位置づけで企画展示室を活用した展覧会活動を行う。今後、「テーマ展示」と称して実施する。</p> <p>&lt;各テーマ展示の内容&gt;                      (ア) 秋期「四季のくらし、小さなまつりー新潟県の年中行事ー」                      (イ) 冬季「やきもの産地・新潟」</p>	<p>&lt;企画展&gt;観覧者数                      (ア) 3,689人                      (イ) 4,483人</p> <p>&lt;テーマ展示&gt;観覧者数                      (ア) 4,526人                      (イ) 2,938人                      ※拡大常設展の位置づけであるため、常設展観覧者数</p>	<p>・施設、設備の老朽化                      ・開催経費、広報担当職員の減少</p>
講座・講演会(再掲) (県立歴史博物館)	<p>◇当館研究員の「調査・研究」活動の成果を広く県民に普及する場として、また、県民の多様なニーズに即した生涯学習の場とするため。</p> <p>・各種講座・講演会等の実施                      [主な内容]                      (ア) 古文書講座                      (イ) 企画展関連講演                      (ウ) 企画展関連講座                      (エ) 見学会</p>	<p>実施数 38回</p> <p>参加者数 710人</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症対策として人数制限を実施</p>
出前講座(再掲) (県立歴史博物館)	<p>◇歴史博物館の研究員の調査・研究活動の成果を広く県民普及させるため、県内各市町村と連携し、各市町村の会場等で講座を実施する。</p> <p>[主な内容]                      (ア) 戦国時代の女                      (イ) 長岡藩の一兵士の日記にみる北越戊辰戦争                      (ウ) まつりの食文化                      (エ) 江戸時代の旅と越後の観光名所 ほか29回</p>	<p>参加数 914人                      (計33回実施)</p>	<p>・依頼元の偏在傾向が見られる</p>
文化財保護助成費 (文化課)	<p>◇県内にある文化財を保存し、その活用を図り、もって県民の郷土に対する認識を深め、文化の向上に資する。</p> <p>(ア) 国指定文化財等保護助成費                      (国指定文化財の維持・修理等)                      (イ) 埋蔵文化財発掘調査補助金                      (埋蔵文化財の発掘調査)                      (ウ) 県指定文化財保護助成費                      (県指定文化財の保存・修理等)</p>	<p>(ア) 6,638,000                      (イ) 12,617,000                      (ウ) 3,607,000</p>	<p>(ア) 市町村を除く所有者・管理者等が行う維持・修理等に対し、総事業費の1/2以内を補助している。                      (イ) 市町村が各種開発事業等に伴い、事前に実施する発掘調査等に対し、総事業費の15%以内を補助しているが、要望額増のためR4年度は7%となっている。                      (ウ) 所有者・管理者等が行う保存修理や防災施設設置等に対し、総事業費の1/2以内を補助している。</p>

事業名(所属)	目的・内容等	R3年度の実績	現状・課題
新潟県史跡等及び埋蔵文化財公開活用事業(文化課)	◇県埋蔵文化財センター等で史跡等及び埋蔵文化財の総合的な公開活用を推進する。 [主な内容] (ア) 講演会等(14回) (イ) 親子・少年少女考古学教室、青少年文化財講座 (ウ) 小中学校学習受入・出前授業等 (エ) 現地説明会・出張展示(2回) (オ) 埋文センター企画展(3回)・常設展観覧等	参加者数 (ア) 718人 (イ) 128人 (ウ) 3,302人 (エ) 553人 (オ) 11,596人	(ア) 講演会等 年々参加応募者が増加する一方、参加者年齢層が固定化する傾向が顕著で、特に青年層の参加率の低さに課題がある。
新潟県文化財保護審議会(文化課)	◇新潟県文化財保護審議会条例に基づき、文化財の保護及び活用に関する事項について調査審議する。 ・定例会を2回開催し、県文化財指定候補物件に関する審議を行う。	開催数 2回 文化財指定数 4件	・年4～5件程度の指定を目標としているが、近年、予算の都合で文化財の悉皆調査が進んでおらず、県内の文化財について着実な指定と適切な保護に影響が出る恐れがある。
文化財悉皆調査(文化課)	◇調査及び保存策のないままとされている県内の文化財を対象として、悉皆調査を行い、指定等適切な保存を図る。 ・令和4年度は古文書の実態把握調査を実施。	調査報告数 6件	・県内には多岐にわたる文化財が存在するが、近年は予算確保が困難であることから、実態を把握する悉皆調査が不十分であり、適切な保護対策や指定等が難しい状況にある。
近代美術館・万代島美術館展覧会事業(再掲)(県立近代美術館、県立万代島美術館)	◇優れた作品を鑑賞する機会を広く県民に提供する。 (ア) 近代美術館 a コレクション展 b 企画展 R3 3/20-6/6 Viva Video! 久保田成子展 7/3-8/29 よみがえる正倉院宝物 9/18-11/14 高畑勲展 (イ) 万代島美術館 a 所蔵品展 (R2-R4実施なし) b 企画展 R3 3/20-5/5 芳年 7/3-9/5 大地のハンター展 9/18-11/7 コレクター福富太郎の眼 1/20-4/10 サンリオ展	観覧者総数 (ア) 41,425人 (イ) 92,666人	(ア) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、来館者への感染を防止する対策の徹底が求められている。 (イ) a 観覧料収入に対して支出が嵩むため、予算が厳しい現状では、実施の目的がたたない。 b 一度収益前提のマイナス一財で予算を組んだことが継続されてしまっている。
各講座・企画展・調査(県立文書館)	・新潟県の歴史や文化等への理解を深める契機とし、併せて古文書等、文化財の保護に対する意識の啓発を行うことを目的とし、年間を通して以下の講座・企画展等を実施している。 (ア) 歴史講座 2回 (イ) 企画展 5回 (ウ) 古文書解読講座 6回 (エ) 特別企画展 (オ) 特別企画展解説講座 2回	参加人数 [※(イ)は除く] (ア) R2年度実施できず (ウ) 446人 (エ) 256人 (オ) 44人	コロナ禍で参加人数の制限、令和が元年度まで実施していた文書館講座の休止が続くなど普及・啓発の機会が縮小されている。

### 【重点的取組②に関連する事業】

事業名(所属)	目的・内容等	R3年度の実績	現状・課題
文化団体事業費補助金(再掲)(文化課)	◇文化活動の活発な展開と個性豊かな県民文化の創造と発展のため、県全域にわたり広域的な活動を行う文化団体を支援する。 ・活動に要する経費を補助する。 (文化団体事業費補助金、分野別文化団体事業費補助金)	<R3補助対象団体> ○文化団体事業費補助金 ・新潟交響楽団 ・新潟県工芸会 ・新潟県美術家連盟 ・現代工芸新潟会 2,102,000円 ○分野別文化団体事業費補助金 ・新潟県合唱連盟 ・新潟県華道連盟 ・新潟県洋舞踊協会 1,623,000円 ※新潟県茶道連盟・新潟県民謡協会・新潟県邦楽連盟・新潟県能楽連盟は新型コロナウイルス感染症の影響で事業中止	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い活動の中止等が相次いでいる。
博物館協議会事業補助金(文化課)	・活動事業の一部について補助する。 (「新潟県博物館協議会ニュース」の発行事業への補助)	発行部数 3,000部	—

事業名(所属)	目的・内容等	R3年度の実績	現状・課題
カモシカ生息概況等調査事業(文化課)	<p>◇カモシカ調査員によるカモシカ生息動向、生息環境及び食害発生状況に関するモニタリングを行う。</p> <p>・朝日・飯豊山系カモシカ保護地域及び越後・日光・三国山系カモシカ保護地域、北アルプスカモシカ保護地域における通常調査の実施</p>	朝日・飯豊山系通常調査、越後・日光・三国山系、北アルプス特別調査	<p>・特別天然記念物のカモシカについて、県内にある3か所の各保護地域で調査員を委嘱し、カモシカ保護管理マニュアルに基づいて保護地域における生息動向や周囲の環境変化、食害の実態等の調査を実施している。</p> <p>・調査には、通常調査と特別調査があり、特別調査は概ね5年毎に2か年をかけて実施し、特別調査を行わない年は通常調査を実施している。</p>
関東民俗芸能大会参加事業(文化課)	<p>◇関東ブロック民俗芸能大会に出演団体等を派遣する。</p> <p>・関東甲信越静ブロック(11都県)の各地に伝承されている民俗芸能のうち、地域的特色の顕著なものや伝統のあるものを公開し、保存・伝承活動の活性化に寄与することを目的に開催される「関東ブロック民俗芸能大会」に、本県から出演する団体に補助金を交付する。</p>	派遣なし(ローテーションによりR4年度は参加なし)	<p>・関東ブロック民俗芸能大会は、ブロック(11都県)の各県から、原則1年おきに参加団体を派遣して開催している。本県で開催する場合は、2団体が参加する。</p>
文化財指導者講習会(文化課)	<p>◇文化財保護・活用についての指導的立場にある関係者が、専門知識及び専門技術を習得する。</p> <p>・文化財保護・活用に関するテーマについて、有識者の講演や行政担当者等の事例報告などによる講習を行う。</p>	新型コロナウイルス感染症の影響によりリモート開催	<p>・文化財の保護・活用に携わる方々や興味のある方に対し、関係法令や専門の知識・技術等に関する講習会を年1回開催し、文化財の保護・活用の促進を図っている。</p> <p>・参加者の日頃の業務や活動に必要な、文化財保護法の改正内容や文化財の保存・活用、防災等のテーマを設定している。</p>
高等学校文化連盟補助事業(教育庁高等学校教育課)	<p>◇高等学校における芸術文化活動の振興を図るため、県高等学校文化連盟が行う芸術文化活動に要する経費に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。</p> <p>・全国高等学校総合文化祭等大会派遣事業 (ア) 全国高等学校総合文化祭派遣事業 (イ) 関東高等学校演劇研究大会派遣事業 (ウ) 西関東吹奏楽コンクール派遣事業 (エ) 全国高等学校囲碁選手権大会派遣事業 [補助基準] ・対象:生徒派遣費 ・全国大会:宿泊費(3食分含む)×2日分 ・ブロック大会:宿泊費(2食分含む)×1日分</p>	<p>「第46回全国高等学校総合文化祭」、「第46回文部科学大臣杯全国高等学校囲碁選手権大会」、「第28回西関東吹奏楽コンクール高等学校Aの部」に係る派遣補助</p> <p>R3補助金確定額 3,607,770円</p>	<p>・「第46回全国高等学校総合文化祭」、「第46回文部科学大臣杯全国高等学校囲碁選手権大会」、「第28回西関東吹奏楽コンクール高等学校Aの部」、「第58回関東高等学校演劇研究大会」に係る生徒派遣費(宿泊費)の補助を予定している。生徒の自己負担への配慮が必要。</p>
美術講演会/美術鑑賞講座(県立近代美術館、県立万代島美術館)	<p>◇県民に美術の学習機会を提供する場として、展覧会に関連した講演会や美術史をわかりやすく理解できるような連続講座を開催した。</p> <p>(ア) 美術鑑賞講座の開催(近代美術館) (イ) 講演会の開催(近代美術館) (ウ) 美術鑑賞講座の開催(万代島美術館) (エ) 講演会の開催(万代島美術館)</p>	<p>参加数 (ア) 134人(7回実施) (イ) 286人(3回実施) (ウ) 1回48人 (エ) 実施なし</p>	<p>(ア) 企画展及びコレクション展の内容に関連した講座としたことで、企画展のターゲット層の熱心な聴講、当館の所蔵品理解に資することができた。 (イ) 企画展の内容に関連した講座としたことで、企画展のターゲット層の熱心な聴講に資することができた。 (ウ) コロナ禍の状況に鑑み、定員25名と少人数で実施予定が、希望者が多くなった。安全に配慮しつつ受け入れた。 (エ) 新型コロナの感染状況悪化により急遽断念。同講師による解説動画のYouTube配信に変更した。 感染症の拡大状況に応じた対応(事業の延期・中止など)の判断時期が難しい。</p>
歴史文書・公文書の整理・活用(県立文書館)	<p>・寄贈・寄託された歴史文書や移管・管理委任された公文書を長期に渡って保存・活用出来るよう、整理・分類を行い、目録を作成する。</p> <p>・歴史資料等所在確認調査を行い、新潟県内各地に所蔵されている資料の現状の確認と保存に努める。</p>	<p>歴史文書 約24箱 公文書 約139箱</p> <p>県内3地域(中越・下越・佐渡)で実施</p>	<p>所有者の代替わり等により、滅失・流出等の危機が増加している。 古文書解読技術に堪能な、指導者的存在が減少している。</p>

【重点的取組③に関連する事業】

事業名(所属)	目的・内容等	R3年度の実績	現状・課題
世界遺産登録推進事業(再掲) (文化課)	<p>◇佐渡金銀山の世界文化遺産登録を目指し、佐渡市と連携して各種調査や普及啓発等を行う。</p> <p>(ア) 世界遺産登録事業 (イコモス現地調査、国際的な理解の促進、歴史的経緯に関する調査)</p> <p>(イ) 普及啓発・情報発信事業 (講演会等の開催、学校出前授業・出前講座の実施、普及啓発資料の作成、登録推進県民会議の運営 等)</p>	<p>(ア)ユネスコへ提出する推薦書の作成、編集</p> <p>(イ) 講演会等参加者数 延べ429人 出前授業実施校 149校(県実施分) 出前講座実施団体 12団体(県実施分)</p>	<p>・ 佐渡金銀山の世界遺産登録に向けて必要となるイコモス現地調査への対応や文化財の保存整備及び国際的な理解促進のための取組の強化を実施。</p>
世界遺産登録推進事業費補助金 (文化課)	<p>◇佐渡金銀山の世界遺産登録を目指して、佐渡市と連携・協働して各事業を実施する。</p> <p>・文化財の保存や整備等の支援</p>	79,350千円	<p>・世界遺産登録のためには、構成資産等が国から文化財として指定され、保存・整備が適切に行われていることが必要である。</p>